

16

ボストンでの暮らしの手引き

Social Life Tip

この章にはボストンでの生活第一歩に役立つ手引きを掲載しました。



アメリカでのソーシャルライフ

近所へのあいさつとお付き合い

●初対面のあいさつ

日本からボストンに着いたばかりで隣り近所の人に英語でのあいさつは、本当に勇気のいることですが、最初が肝心です。おつきあいの気持ちは世界共通。お世話になったり、迷惑をかけることだってあるかも知れませんが。思い切って両隣りとお向かいの家へ行ってみましょう。“Hello, I am ○○. This is my wife ○○. We’ve just come from Japan.”という程度でいいのです。近隣の方々から声をかけてくれる場合もあります。

www.nextdoor.com: 近隣の人々との情報を SNS (Social Networking Site) で共有できるシステムがあります。隣近所の会員による紹介か身元確認後の入会制。

●お礼と感謝の気持

近所の人や顔なじみの郵便配達人に出会ったら、“ハイ”と声を掛けるだけでも雰囲気や和みます。*ホリデーシーズンには郵便や新聞の配達人にチップを入れたカードを手渡し(または郵送)お礼の気持ちを表すのがいいでしょう。また、学校の先生や子供の勉強を見てくれた家庭教師、スクールバスの運転手などへは、手作りの小さなものなどが喜ばれます。またバレンタインデーは、日本のように女性から男性へとは限らず、夫婦や恋人同士、親子、兄弟、友人、先生へ、カードを送ったりプレゼントを贈ったりします。

*宗教によりクリスマスを祝う人ばかりではないので、ホリデーシーズン、ホリデーカードと呼ばれるのが一般的です。

●名前の呼び方、態度

First Name で呼び合う習慣がありますから、相手の名前を覚える努力は必要です。自己紹介されてよく聞き取れなかったら、聞き返しても失礼にはなりません。“How do you spell it?”と聞くのもよいでしょう。自分の名前を覚えてもらうのも大切です。日本人の名前はアメリカ人には発音しにくいことがあるので、例えば「けんいちろう」さんなら“Please call me Ken.”などとすれば印象的です。また、アメリカ人は最初から自分のニックネームを名乗ることが多いですが、正式名称を知っておくとよいでしょう(例: Bill→William, Bob→Robert, Joe→Joseph, Harry→Henry, Jen→Jennifer, Kim→Kimberly, Meg→Margaret, など)。

“Yes” “No” “Thank you” “No, Thank you” などははっきり言いましょう。意思表示は失礼ではなく、かえってあいまいな態度が相手を傷つけたり誤解を招いたりすることがあります。

www.bestnickname.com: ニックネームほか名前についての情報が得られる。

冠婚葬祭

●結婚式(Wedding Ceremony & Reception)

最近の結婚式は、日本でもアメリカでも多様化され、結婚する 2 人のアイディアで、楽しく思い出に残るようなものになってきました。しかし名門とよばれる階級においては、ここアメリカでも未だに家柄が重視されているようですし、人種・宗教なども大いに問題となるようです。

式後の披露宴(Reception)は儀式のような立派なものもありますが、殆どは家族・親戚・友人が新郎新婦の門出を祝い、飲んで踊って楽しめます。

◎服装: 結婚式に招かれたら、先方からドレスコードを指定されない場合も、男性ならダークスーツにネクタイ、女性はスーツかワンピースがよいでしょう。

◎結婚祝い: 現金でのお祝いは少なく、本人の指定する店に行くと「欲しい物」のリスト(Bridal Registry)が置いてあり、自分の予算に合ったものを贈ることができます。また、親しい友人が新郎新婦のため、結婚式前に‘Bachelor Party’、‘Bachelorette Party’を開くこともあります。

◎婚約後ウェブサイトを作り、ここに結婚式についての情報を載せるカップルもあります。

●パーティー(Party)

「アメリカではパーティーが多い」と聞いて、楽しみな人も不安な人もいるでしょう。ほんの少しの飲物やスナック程度から、素晴らしい料理にいたるまで、何かにつけて家族、友人が集まっておしゃべりを楽しむのです。気軽にパーティーに呼んだり呼ばれたりするようになれば、アメリカ生活も楽しくなるでしょう。フォーマルなパーティーには大人だけが出席し、子供はベビーシッターに預けるのがエチケットです。

◎ディナーパーティー(Dinner Party)

少人数のパーティーであることが多いのですが、多人数の場合はビュッフェ(Buffer)スタイルになります。ホスト側が男女の数を考慮して招待客を決めるため、普通はカップルで参加します。持参するおみやげは、ワイン、チョコレート、お花などが無難です。ドレスコードがある場合も多いです。

◎カクテルパーティー(Cocktail Party)

酒類を飲みながら楽しむ夜のパーティー。夕食前の2~3時間または夕食後に、特にお祝い事でなくても気軽に開かれます。ファミリーパーティーと称さない限りは子供連れで行かないようにしましょう。

◎ポットラックパーティー(Potluck Party)

各自、好みの料理を 1~2 品持ち寄って楽しむパーティー。メイン料理はホスト側で用意することもあります。先方に問い合わせる何を作っていくか、例えばサラダ、デザートまたは果物や飲物等を知らせておくといいいでしょう。

◎ベビーシャワー(Baby Shower)

出産直前または直後に、母親と赤ちゃんを祝ってプレゼントを持ち寄るパーティー。軽食パーティーであることが多いようです。

◎バースデイパーティー(Birthday Party)

子供の場合は、年齢によって違いますが、ほとんどの場合は子供が友達を招待し、招く側はいろいろなアイディアを考え、子供達を楽しませます。食事は大げさなものではなく、ピザやバースデイケーキなどです。

学級でバースデイパーティーを開いてくれる時は、母親が先生と打ち合わせ、飲物やカップケーキなどを届けることが多いようです。最近、ナッツ類、小麦粉、卵、乳製品などのアレルギーを持つ子供がいるので先生と相談することは大切です。

◎サプライズパーティー (Surprise Party)

本人にだけはパーティーであることを告げず、当日びっくりさせるように計画するパーティー（主に節目の年のバースデイパーティーなど）。

◎オープンハウス (Open House)

隣近所、会社の人などを招いて開く軽いスナック程度のパーティー。時間も長く、始まりから終わりまでいる必要はなく、途中でちょっとのぞいて挨拶するだけでもいいのです。新しい家に引っ越した時、または子供が学校を卒業した時などにも開かれます。

学校、キャンプなどの一般公開日や、売り家の公開にも‘Open House’という言葉を使います。

◎アニバーサリーパーティー (Anniversary Party)

結婚記念日、創立記念日など、特別な記念日を祝うパーティー。簡単な形式のものから、フォーマルで盛大なものまであります。

●葬式 (Funeral Services)

日本と同様、葬儀屋 (Funeral Home) に連絡すると、葬儀の手はずを一切整えてくれます。まずお通夜 (Viewing, Wake) があり翌日、または翌々日に教会または Funeral Home で葬儀が行なわれます。

香典は日本のように高額である必要はなく、香典返しという習慣もありません。「～あての Fund に送ってください。」という場合が多く、小切手を指定された場所へ送るとよいでしょう。

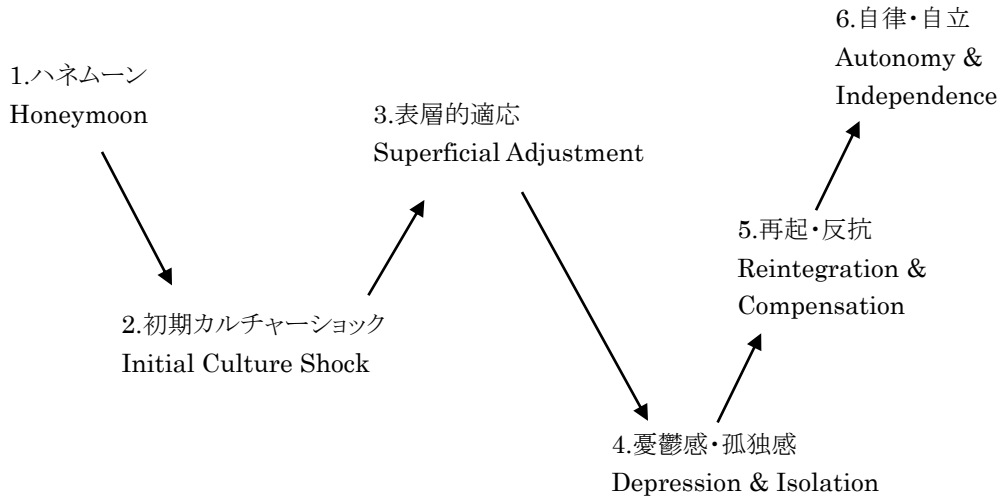
葬儀のあと墓地に向かう時、参列者の車は昼間でもライトをつけ、一列に連なって走ります。この葬列は信号を無視して赤信号でも進んでいいことになっているので、このような車の列に出会った時は道をあけて待たねばなりません (葬列を横切ると罰金が課せられます)。

服装は、身内の人は喪服ですが、一般の参列者は普通の服でもきちんとしていれば十分です。

海外生活に慣れるまで

海外生活には不安がつきものです。しかし、いつか必ず「慣れる」時が来て、小さな悩みも笑い話になるでしょう。心の状態を把握するために適応のサイクルや解決策などを紹介します。

●適応へのステップ



参考: Managing Culture Differences by Phillip T. Harris and Robert T. Moran
Gulf Publishing Company, 1979

誰もがこのステップを全てこの順に経験するわけではありませんが、上に示したのは、異文化に接した時の反応のモデルです。

◎各段階の特徴や解決策の一例を次に挙げてみましょう。

1.ハネムーン

興奮と好奇心でいっぱい、「欠点が目に入らない」楽しい時期です。

「憧れのボストン。ここで2年も過ごせば、英語もペラペラになれるわ。昔から英語の発音には自信があったし。アメリカ人って気さくでつき合いやすそう。」

2. 初期カルチャー・ショック

最初の興奮から醒め、ささいな文化の違い、言葉・食べ物などに慣れずに欲求不満の状態になります。自分を異文化に合わせることを拒んでしまいます。

「車の免許も取らなければ。でも試験勉強がおっくうだ。」

「ファーストフード店で言葉が通じなかった。ちゃんと発音しているつもりなのに。」

「何かたずねても、かえてくる返事がよくわからない。」

小さな相違をくよくよと気にせず、自分とアメリカを大きな目で見ることが大切。また英会話などは無理にマスターしようとせず、自分の好きなジャンルで、自然体で身につけるようにしましょう。(例: ストーリーを知っている又はキャプション付きの映画を観る、雑誌で興味を持ったところを拾い読みする等)

3. 表層的適応

新しい文化にも慣れ、言葉も基本的なことはわかるようになり、気持ちに余裕ができます。

「日常会話はなんとか通じるようになった。これならパーティーに招待されても楽しめる。」

「運転にも慣れてきたわ。何か習い事でも始めようかしら。」

4. 憂鬱感・孤独感

根本的な文化的相違に出合い、失望と疎外感に悩まされます。アメリカ人と表面的な会話は交わしても、深く理解し合えないことに苛立ったり、自分のアイデンティティーに疑問を抱いたりします。

「初めて手料理を作ってご招待したのに、「宗教上の理由」などといってほとんど手をつけてくださらなかった。お口に合わなかったのかしら。気まづくなってしまった。」

「成人教育のコースをとったのはいいけれど、「何か質問は？」と聞かれても、恥ずかしくて他の人のようには発言できない。日本であんなに発言したら目立ってしまうのに。」

文化的相違を、個人的レベルで受け取らないことです。こちらに長く住んでいる人に経験談を聞いたりして情報を得ましょう。

5. 再起・反抗

「落ち込み」からの反動で、異文化に対して反抗的になる時期です。新しい文化の価値観などがわかってきますが、自分を守るために故意に文化規範を破ったりしてしまいます。

ゆったりとした気持で、異文化に「従う」のではなく「理解する」ことが必要です。

6. 自律・自立

リラックスし、自信が出てきます。自分と相手の文化の良いところを理解して自分の中で融合させることができるようになり、人間関係にもゆとりが生まれます。

英語に慣れるために

いざアメリカに来てみると、相手の言うことがわからない、自分の言うことが通じない、という二重の限界を感じてしまう人が多いようです。英語が得意か不得意かということにかかわらず、積極的に英語に慣れるようにしたいものです。

●聞き取り

初めはわからなくても、繰り返して聞くことが上達の秘訣です。アメリカ人それぞれに英語の癖がありますから、発音の正しいネイティブのアメリカ人に会話を習うのが一番いいのですが、ラジオやテレビの番組を毎日視聴するのも良い方法です。

●発音

日本で学んだ通りに発音しても通じないことがあります。耳で聞いた通りを繰り返し発音してみることです。参考サイト：<http://dictionary.cambridge.org/dictionary/english/profile>

●読み

何といっても、量を読むことが先決です。「英会話」にばかり気を取られてしまいがちですが、やはり情報量は目から入る方が多いのですから、読むことにも慣れておきたいものです。好きなジャンルのものでトライしてみましょう。料理が好きなら、料理のレシピから入門するのもいいでしょう。日本の「短冊切り」などのような専門用語ありませんから、ごく基本的な動詞を覚えればいいのです。

ワンポイント英会話

ごく基本的な会話の一部をご紹介します。

Nice to meet you	初対面のあいさつ
Nice meeting you, too	上の挨拶への返答
Excuse me (us)	失礼のあいさつ
Would/Could you～?	依頼
You are welcome	どういたしまして Thank you の返事
That is OK	いいですよ
That is fine	それで結構です
That's all, That's it	以上です
All set, All done	完了(手続きなど)
Do your best	最善を尽くせ
Have a nice day	よい一日を
Take care	元気で、おつかれさま(別れ際のあいさつ)

God bless you (Bless you)	神のお恵みあれ (くしゃみをした人にかける言葉)
Good luck、Break a Leg	幸運を祈る、頑張って I need it と答える
Freeze	動くな
Hold up、Hold on	待ってくれ
Where is the fire	そんなに急いでどこに行くのだ?
Hang in there	くじけるな、負けないで
Do me a favor	頼みがある
Easy as pie、Piece of cake	とても簡単だ
Get over it	乗り越える
In my book	私の考えでは
Stay over	一晩泊まる
It's a shame	それは残念だね
Cut it out	よしなさい
Watch out	気をつけろ
I'm just looking, thank you	店内で May I help you?の返事
I will be back in a minute	すぐ戻ります
Brush up (on)	磨きをかける
By the way	ところで(自然に話題を転換する時)
Get ready for	準備する
Sir (男性)、Madam (女性)	見知らぬ人に呼びかける時
Look good on someone	似合う
Say "Cheese"	カメラに向かって微笑みかける時

参考サイト: <http://英会話例文.アメリカ生活.net> <http://ajieigo.com>

ボストンへようこそ

Welcome to Boston

Japanese Association of Greater Boston
792 Massachusetts Avenue, Arlington, MA 02476

ボストン日本人会
婦人部「ボストンへようこそ」編集部